

## 学生奨励賞受賞者一覧

第1回 2012年11月 (名古屋)	1号	塚田千恵 (名古屋大学)	液中プラズマ法で作製したAuナノ粒子とL-システイン分子の水環境下における吸着反応のふるまいに関する研究(口頭)
	2号	北原圭祐 (千葉大学)	シリアで発掘された古代青色ビーズに対するX線分析(ポスター)
2013年 (大阪)			TXRF2013との合同会議となり、授与せず。 (TXRF2013ポスター賞3件を授与)
第2回 2014年10月 (仙台)	3号	山西 惟 (九州大学)	鉄(III)を担持させた陽イオン交換樹脂へのSe吸着挙動(口頭)
	4号	八木良太 (大阪市立大学)	共焦点型蛍光X線分析法による鉄鋼材料腐食挙動の解析(ポスター)
第3回 2015年10月 (姫路)	5号	Wenyang Zhao (筑波大学)	X-ray fluorescence analysis and imaging by the use of CCD camera(口頭)
	6号	九鬼真樹 (兵庫県立大学)	500~1000 eV領域用の高反射W/Si多層膜回折格子の開発(ポスター)
	7号	小野晃一郎 (東北大学)	カソードルミネッセンス法による金属材料中の介在物のマッピング(ポスター)
	8号	萩原健太 (明治大学)	ハンドヘルド蛍光X線分析法を用いた水中有害元素の現場定量(ポスター)
2016年 (東京)			該当者なし
第4回 2017年10月 (徳島)	9号	目崎雄也 (東京理科大学)	焦電結晶を用いた金ナノ粒子作製と評価(口頭)
	10号	大村健人 (広島大学)	通常X線源を用いる分散型XAFS測定装置の開発と価数の動的追跡—信号強度とエネルギー分解能の最適化—(ポスター)
第5回 2018年10月 (東京)	11号	大平一輝 (広島大学)	分散型光学系を利用する吸収端差分イメージング法の開発
	12号	山崎慶太 (京都大学)	エネルギー分散型XRFにおけるファンダメンタルパラメータ法の高精度化
第6回 2019年10月 (福島)	13号	中川康太郎 (茨城大学)	X線回折ラインプロファイル解析に基づく金属材料の加工硬化挙動の定量的解釈(口頭)
	14号	森村亮介 (広島大学)	分散型XAFS測定装置用フロー電気化学セルの開発とその応用(ポスター)

第 7 回 2020 年 10 月 (大阪)	15 号	前田 樹 (兵庫県立大学)	放射光軟X線吸収分光法と第一原理計算によるナノダイヤモンドの表面構造解析(2); クラスター内部の欠陥構造解析(口頭)
	16 号	園田健太 (大阪市立大学)	酸化グラフェンテンプレートによるナノメートルサイズ酸化ガリウム光触媒の作製(口頭)
第 8 回 2021 年 11 月 (福岡)	17 号	栗本悠司 (京都大学)	Web カメラを用いた X 線の検出(口頭)
	18 号	小林昌平 (麻布大学)	天然高分子を用いた蛍光 X 線分析のための環境水試料の簡易濃縮法の検討(口頭)
	19 号	古澤 萌 (茨城大学)	荷重変形中のその場中性子回折測定による Al 合金のマイクロ組織発達過程観察(ポスター)
	20 号	宮原知也 (大阪市立大)	全視野型蛍光 X 線分析法による多層膜試料の深さ元素イメージングの基礎検討(ポスター)
	21 号	丸山瑠菜 (兵庫県立大)	絶縁性ワイパーに吸着させた液体試料の全電子収量 軟 X 線吸収測定(ポスター)
第 9 回 2022 年 11 月 (姫路)	22 号	市川 恭史郎 (大阪公立大学)	水によるCO2還元活性に及ぼす酸化ガリウムの担持効果(口頭)
	23 号	谷口 尚哉 (大阪公立大学)	全反射蛍光 X 線測定における分析体積の評価(ポスター)
	24 号	田中 利幸 (兵庫県立大学)	直鎖アルカンの C K 端 XANES 測定と DFT 計算による解析(ポスター)
	25 号	馬場 可奈 (茨城大学)	中性子回折を用いた純銅の高温圧縮変形時に伴うマイクロ組織形成の観察(ポスター)
第 10 回 2023 年 10 月 (東京)	26 号	毛利 恵聖久 (東京工業大学)	高温における Ni-K 端 XAFS を用いたアルミノシリケートガラス融液の構造解析(口頭)
	27 号	下垣 郁弥 (兵庫県立大学)	タンパク質の熱変性におけるペプチド結合の in-situ XANES 測定(口頭)
	28 号	野路 悠斗 (大阪公立大学)	波長分散型蛍光 X 線イメージングにおける空間分解能の向上を目指した研究(ポスター)
	29 号	五十嵐 萌々 (大阪公立大学)	蛍光 X 線スペクトルの短時間取得に向けたベイズ推定の適用(ポスター)
	30 号	細井 敬泰 (東京都市大学)	異なる条件下で成長させた食塩結晶への夾雑イオン取り込みの X 線分析(ポスター)
	31 号	中澤 礼香 (東京都市大学)	鉄を用いる H2 生成/CO2 固定における反応前後の結晶相組織と反応性との関係(ポスター)

			→)
--	--	--	----